

# 別表1 (表彰基準)

区 分		所属等の要件	表 彰 の 対 象	対象期間	推薦者	提出書類	
1	スポーツ栄誉賞	市内在住・在勤・在学者及び市出身者	国際大会（※1）に日本代表として出場し、第3位以内に入賞した選手。	1月 1日から 12月31日まで	スポーツ協会加盟団長（ただし各団体からの推薦は1名とする）、スポーツ協会事務局	推薦様式1による	
2	スポーツ功労者賞	市内在住者	(1) スポーツ協会加盟団体等において、会長の職を退いた者。 (2) スポーツ協会加盟団体等において、15年以上にわたりスポーツ振興に功労のあったおおむね50歳以上の者。 (3) スポーツ協会加盟団体等において、15年以上にわたり指導者として選手育成に功労のあったおおむね50歳以上の者。				
3	市長賞	市内在住・在勤・在学及びスポーツ協会加盟団体登録者。 ※市内に在籍するクラブチームでの出場を含む。	(1) 国際大会（※1）に出場した者。 (2) 国際大会（※2）で3位以内に入賞した者。 (3) 全国大会（※3）で優勝した者。			スポーツ協会加盟団長、各学 校長、スポーツ協会事務局	個人は推薦様式による 団体は推薦様式3-1、3-2による ※団体の場合は競技規則に定められた者。
4	スポーツ協会長賞		(1) 国際大会（※2）に出場した者。 (2) 全国大会（※3）で入賞した者。				
5	優秀選手賞		(1) 予選を経て全国大会（※3）に出場した者。				
6	スポーツ奨励賞		(1) 全国大会（※4）で入賞した者。 (2) 関東大会（※4）で第3位以内に入賞した者。 (3) 県大会（※4）で優勝した者。				
7	ジュニア奨励賞		(1) 小学生で表彰区分、3・4・5・6に該当する者。 (2) 中・高校生で表彰区分6に該当する者。				
8	優秀指導者賞		表彰区分1・3・4・5の指導者で競技規則に定めるところの指導者。				
9	指導者奨励賞		表彰区分6・7の指導者で競技規則に定めるところの指導者。				
						推薦様式4による	

※1 日本を代表して出場する当該国際団体（IOC・IPC・IF・ICSD等）の最高権威の大会とする。《オリンピック・パラリンピック競技大会・世界選手権・デフリンピック等》

※2 《アジア大会・ユニバーシアード大会・世界ジュニア選手権・ワールドカップ（年間数試合）等》

※3 文部科学省・日本スポーツ協会・中央競技団体が主催し、当該競技の国内最高権威の大会とする。《国民スポーツ大会・全日本選手権・全国高校選手権大会・全国中学生大会・全日本学生選手権・全日本ジュニア選手権等》

※4 各競技団体及び教育委員会並びに学校体育団体が主催する大会及び全国障害者スポーツ大会（以下、全スポという）

・全スポは「障がいのある方がスポーツの楽しさを体験するとともに広く障がいに対する理解を深めること」を目的とした国内最大の大会である。規模や成績により委員会に諮る。

注) 入賞とは、大会要項に定める入賞者